

- 株式会社東海理化電機製作所は、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにする環境目標を設定しており、そのマイルストーンとして「カーボンニュートラル戦略2030」を策定し、2030年までに生産CO2を2013年度比で60%低減することを目標としています。
- 本計画では、太陽光発電設備の導入による再エネの利用拡大、空調熱源更新に伴う高効率化や生産設備から出る排熱の有効活用などの省エネによりCO2排出量を削減します。
- 上記の他、オフサイトPPAによる再エネ電力の調達等といった諸施策の実施により、事業者全体の炭素生産性を10%以上向上させます。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

2022年6月～2024年3月

### 2. 炭素生産性向上目標

計画最終年度である2023年度において、炭素生産性を10%以上向上する。

### 3. 前向きな取組の内容

- 以下の取組により炭素生産性を向上
  - ・建物屋根への自家消費型太陽光発電設備の導入
  - ・熱処理設備の排熱を活用する排熱熱媒ボイラの導入
  - ・空調熱源の効率化（蒸気式冷凍機、ボイラ、冷温水発生機を廃止し、電気式チラー、ターボ冷凍機を導入）
  - ・オフサイトPPAによる再エネ電力の調達等

### 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## <取組の内容のイメージ>

- 再エネ導入拡大・機器効率化等によって、2030年までに、生産CO2を2013年度比で60%低減
- 先行して、2030年までに、本社・本社工場カーボンニュートラルにチャレンジ

